

おぐに議会だより

第40号

令和2年11月10日



○令和2年 第3回臨時会

○令和2年 第3回定例会

○町政を問う(一般質問)

令和2年第1回災害対策特別委員会の開催

7月豪雨災害に伴う復旧復興状況を調査・審議するため、災害対策特別委員会を設置した。
委員9名（委員長 松本明雄、副委員長 江藤理一郎）

◆7月豪雨災害の現地視察

9月1日(火)に以下の行程で現地視察を行ない、随同行した建設課と産業課より被害状況と今後の工事予定について説明があった。(全員)

<視察行程>

西里地域

- ① 鯛ノ田地区
- ② 楯平川(河川災)



楯平川

西里下城地域

- ① 町道西里田原線(道路災)
(ファームロード鯛ノ田側、ファームロード田原側)



ファームロード鯛ノ田側

下城地域

- ① 田原地区(緊急治山、阿蘇地域振興局山地災害対策課所管)
- ② 町道田原秋原線

下城地域

- ① 林道赤鹿線(林道災)
- ③ 林道秋原線(林道災)

下城地域

- ① 秋原地区(農災)
- ② 秋原川(河川災)



国道212号線沿い杖立地区

下城地域

- ① 国道212号線沿い杖立地区
(阿蘇地域振興局土木部所管)

黒淵地域

- ① 天神脇(農災)
- ② 町道上滴水線(道路災)



国道387号線沿い旧杉室小学校横

黒淵地域

- ① 国道387号線沿い旧杉室小学校横
(阿蘇地域振興局土木部所管)

地熱開発施設の現地視察及び勉強会の開催

地熱開発施設の現地視察及び勉強会を行なった。

◆地熱開発施設の現地視察

8月26日(水)に町長、政策課が随行し、町内で地熱開発を行なっている5社(株式会社小国町おこしエネルギー、合同会社わいた会、FBD株式会社、株式会社テーオー、スズカ電工株式会社)を現地視察した。(全員)

現在稼働中の合同会社わいた会



各社の発電状況と予定

社名	掘削地	現在の最大出力数	予定の最大出力数
株式会社小国町おこしエネルギー	大字北里ナメリ	1,995kw	4,990kw
合同会社わいた会	大字西里山際		5,000kw
FBD株式会社	大字西里麻生鶴		2,000kw
株式会社テーオー	大字西里西田平		300kw
スズカ電工株式会社	大字西里曠平		2,000kw

◆地熱関係勉強会の開催

8月26日(水)におぐに町民センター議場で合同会社わいた会より地熱発電事業の現況報告及び質疑応答があり、その後、政策課より地熱開発の現況報告、小国町地熱資源活用協議会の現況報告及び協定締結の概要について説明があった。

令和2年第3回臨時会 令和2年8月12日

8月12日(水)、今年3回目の臨時会を開き、専決処分の承認・補正予算・特別委員会設置の議員発委を審議した。

【専決処分の承認】

○承認第5号 一般会計補正予算(第5号) (令和2年7月10日専決)

…災害復旧費2,250万円を追加し、総額61億2,554万円とする

【予 算】

○議案第44号 一般会計補正予算(第6号)…1億235万円を追加し、総額62億2,789万円とする

…災害救助費5,884万円・災害廃棄物処理委託料等2,238万円・災害見舞金200万円
コロナ対策事業持続支援給付金1,200万円・給食費緊急支援補助金150万円など

【発 委】

○発委第3号 災害対策特別委員会設置に関する決議

…災害に対する諸問題を調査し、その対策樹立を目的として

令和2年第3回定例会 令和2年9月8日～9月18日

第3回定例会を9月8日(火)から9月18日(金)まで開き、災害復旧事業及びコロナ対策などの一般会計補正予算や令和元年度各会計決算認定などについて審議しました。

【 予 算 】

- 議案第45号 一般会計補正予算(第7号)**…37億8,078万円を追加し、総額100億867万円とする
…災害復旧関連36億3,245万円(農林業施設災12億5,260万円・公共土木災21億2,755万円・災害家屋解体工事費等1億6,500万円・治山事業費6,530万円など)、コロナ対策関連1億2,487万円(保育園増築工事4,250万円・農作物作付支援対策事業支援金等1,150万円・観光施設照明設備設置工事3,300万円・小中学校情報機器購入等1,265万円など)、他
- 動議 議案第45号 一般会計補正予算(第7号)に対する修正動議**
…第7号補正37億8,078万円からコロナ対策観光施設照明設備設置工事3,300万円を削除し、総額99億7,567万円とする
- 議案第46号 介護保険特別会計補正予算(第1号)**
…介護保険給付費(国)返還金など3,788万円を追加し、総額12億840万円とする

【 契 約 】

- 議案第47号 物品購入契約の締結 (GIGAスクール用端末 (ipad OS))**
…小中学校児童生徒用などのタブレット端末を複数市町村で共同調達
・契約金額 23,476,420円 ・契約先 富士ゼロックス熊本株式会社

【 認 定 】

- 認定第1号 令和元年度一般会計歳入歳出決算認定**
…歳入65億1,417万円・歳出60億4,995万円 差引残4億6,422万円(翌年度繰越)
- 認定第2号 令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入9億9,249万円・歳出9億7,149万円 差引残2,100万円(翌年度繰越)
- 認定第3号 令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入11億3,469万円・歳出10億4,042万円 差引残9,427万円(翌年度繰越)
- 認定第4号 令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入1億1,062万円・歳出1億929万円 差引残133万円(翌年度繰越)
- 認定第5号 令和元年度地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入62万円・歳出62万円 差引残 0円
- 認定第6号 令和元年度坂本善三美術館特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入1,234万円・歳出1,234万円 差引残 0円
- 認定第7号 令和元年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入615万円・歳出593万円 差引残22万円(翌年度繰越)
- 認定第8号 令和元年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定**
…歳入1億4,904万円・歳出1億4,550万円 差引残354万円(翌年度繰越)
- 認定第9号 令和元年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定**
…収益的収入1億3,794万円・収益的支出1億2,438万円
資本的収入3,561万円・資本的支出8,772万円(不足額は積立金・留保資金等で補填)

【報 告】

○報告第3号 令和元年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告
 …実質赤字比率なし 連結実質赤字比率なし 実質公債費比率9.7 将来負担比率34.7

○報告第4号 専決処分事項の報告

…公共工事請負契約金額の変更 工事名:(仮称)杖立防災センター建築工事
 変更前契約金額150,336,000円 変更後契約金額155,481,678円

【請願・発議】

○請願第1号 核兵器禁止条約の早期発効を求める意見書提出の請願

○発議第3号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
 …地方自治法に基づき国会衆参両院議長と内閣総理大臣及び関係国務大臣あてに意見書を提出

○発議第4号 日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・推進を求める意見書

…地方自治法に基づき内閣総理大臣及び外務大臣あてに意見書を提出

【人 事】

○同意9号 教育委員会委員の任命

…任期満了に伴い、現職の田代篤雄氏が
 再任されました。

田代 篤雄

昭和36年11月4日生まれ
 (下城)



採決結果一覧表

(事件名欄の名称は一部短縮して記載しているものがあります)

	議案番号	事件名	採決結果	時松昭弘	江藤理一郎	穴見まち子	久野達也	児玉智博	大塚英博	西田直美	松本明雄	熊谷博行
8月12日 第3回臨時会	承認第5号	専決第5号 令和2年度一般会計補正予算(第5号)	承認									
	議案第44号	令和2年度一般会計補正予算(第6号)	可決	全員賛成								
	発委第3号	災害対策特別委員会設置に関する決議	可決									
9月定例会(9月8日・18日)	議案第45号	令和2年度一般会計補正予算(第7号)	可決	×	○	○	○	×	○	×	×	○
	動議	令和2年度一般会計補正予算(第7号)に対する修正動議	否決	○	×	×	×	○	×	○	○	×
	議案第46号	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	全員賛成								
	議案第47号	物品購入契約の締結(GIGAスクール用端末(ipadOS))	可決	全員賛成								
	同意第9号	小国町教育委員会委員の任命	同意	賛成多数(賛成8人、反対1人)								
	請願第1号	核兵器禁止条約の早期発効を求める意見書提出の請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	認定第1号	令和元年度一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	認定第2号	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	認定第3号	令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	認定第4号	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○
	認定第5号	令和元年度地方改善施設住宅新築資金等貸付金特別会計歳入歳出決算認定	認定	全員賛成								
	認定第6号	令和元年度坂本善三美術館特別会計歳入歳出決算認定	認定									
	認定第7号	令和元年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定	認定									
	認定第8号	令和元年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定									
	認定第9号	令和元年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	認定									
	発議第3号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	発議第4号	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×

○常任委員会の再編等について

現在、小国町議会には総務文教福祉常任委員会と産業委員会の2つの常任委員会がありますが、所管する事務分量に偏りがあります。また、定数削減により委員の数も少なくなっています（総務5名、産業4名）。これらの課題を解決するために、来年度を目標に常任委員会の再編を検討しています。

再編案は以下の通りです。会議では、引き続き継続して検討する事を確認しました。

1. 常任委員会数を3つにして、各議員が2つの委員会に所属する。
2. 常任委員会ごとの所管事務分量を見直す。

○SNSの取り扱いについて

議員のSNSでの発信についてルールは設けないが、議員個人の責任において慎重に行うよう話し合いました。

町政を問う【一般質問】



災害復旧の早期着工について

熊谷 博行

【建設課長】現在、査定期間の段階だ。査定後、本設計その後発注という流れで、査定が三月までかかる見込みもあり、今年度の発注というのは、難しいのかもしれないと考えている。本格的には来年度発注の予定になると思う。

閭課長の答弁によると二年間で600箇所、復旧年数3年間、今年度が約半年、令和3年・4年の約二年半でこの数の災害復旧工事を完成できるのか不安でいっぱい。これに加えて熊本県の災害もある。熊本県の発注の方が町より早くなると思うが、行政はどのような調整をされるのか伺いたい。

【建設課長】町の指名業者には請負能力があると判断している。発注に関しては、その箇所についてまとめたような一箇所工事発注などに配慮しながら実施していければと考える。

【町長】災害復旧は三年間で完工しないといけない。現行の工事も少しの変更は生じるかもしれないが、案件事業は計画通り行う。



豪雨災害対策と コロナ対策の現状 久野 達也

【町長】 国補正予算では災害復旧関連で36億円超の予算が計上され、膨大な事業量となり、職員も積極的に動いている。迅速な事業推進に向け、専門的知識を有する担当者の確保が必要だと思うが現状は。

【建設課長】 建設課OBや県派遣・コンサル事業者等にも打診したが、見通しが立っていない。

【町長】 人材確保に努めている。課長答弁に加え、SDGs未来都市関連市などにも打診し、働きかけている。

【久野】 砂防ダム等の現状確認や対応はどうか。特にスリットダムでは堆積物除去は重要だと思うが、危険箇所の確認や事業実施の現状は。

【建設課長】 所管は県である。調査は進んでいるが、事業実施などは確定していないと聞いている。町も状況等を県へ連絡し早急な対応を要望したい。

【久野】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 筑後川ダム管理事務所と連携を密にしてきた。河川堆積物除去も早急に対応頂いている。また、河川の部分、治山の部分等いろいろな話をしている。

【久野】 災害復旧は現状復旧が基本だが、創造的復旧・将来を見据えた復旧に向け、国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 国補正予算で新たなコロナ対策が計上された。コロナとの共生社会へと変化を続けていると思う。町として、この現状にどう取り組むのか。

【町長】 第一期は給付策、第二期で支援策と実施してきた。第三期以降は新たな生活様式への対応策と振興策と考えており、強力に進めたい。

【久野】 コロナ・豪雨災害と厳しい状況である。生活の安全安心の確保や町の振興に知恵を出し合い取り組んで頂きたい。



災害時の自主防災と 応援体制について 時松 昭弘

【町長】 7月豪雨で自主防災体制の確立に行政と地域の一体的取り組みが更に重要と認識した。各集落が高齢化し、共に助け合わねばならない。町に取り組みの計画はあるのか。

【総務課長】 現在の自主防災組織は各部にリーダーがいるが、まだ力を発揮出来ていない所もあるので行政も力を入れていきたい。

【町長】 町民が自分の命を守るよう訴えねばならない。災害に対し職員だけで対応できない場合、応援要請・自衛隊災害派遣要請などを今後の検討課題にすべきではないか。

【町長】 避難の在り方の多様性が出てきているのではないか。今後災害はあると思うので、小国以外の知人や親せきの家に避難しても連絡は地元でしっかり対応するなどの煮詰めの作業をしないといけない。

【町長】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。

【町長】 国・県等関係機関と連携を密にし、積極的な復旧にあたつて頂きたい。



7月豪雨の災害対応について

児玉 智博

【町長】7月の豪雨では、3日から4日の大雨で県南地域に水害が発生していたので、6日からの大雨の前には災害の発生が予想出来たと思うが、小国町は7日早朝に水害、土砂災害が発生してなお、災害対策本部を設置しなかった。設置されたのは11日。しかも19日には早々と解散してしまっただけか。

【町長】たくさんさんのガイドラインに基づいて判断した。

【町長】ガイドラインか。

【町長】ガイドライン、たくさん見た上で7月7日の段階では災害対策本部を立てずに、現行の課長会でいったほうが、復旧は早いかもしれないと判断した。

【町長】「このガイドラインです」と示せないのか。災害対策というのは、せめて災害の規模や実態を把握するまでが二つのセットだと思う。たった8日で災害対策本部を解散したのは誤りだったのでは。

【町長】人員をできるだけ復旧に充てて行いたい時には、災害対策

本部を設置をしている事が不利になる。今の行政の体制で対応した方が迅速に対応できると判断した。

【町長】被災状況の把握を今、町がどの程度出来ているか。同僚議員の質問にも、公共土木災と農業災害の状況すら2カ月経つてもだいたいの数しか答えられない。これに本当に災害状況を掌握できていると言えるのか。

【町長】今回は避難勧告までしか発令されなかったが、谷にある集落など危険な地域は多い。地域を指定して避難指示を出して、もっと強く避難を呼びかける必要があるのではないか。

【町長】災害のときから情報課に指示し、それができるといふ体制づくりを今整えているところだが、今回も特に危険な場所である市井野地区それから向鶴地区には、直接原付きで私が行き、「出来るだけ今日も避難をしてください」とお願いして回った。



コロナ禍と豪雨災害の対応・その他

西田 直美

【町長】本年はコロナ禍・7月豪雨と災害が続いている。各課の直面する緊急かつ最大の課題は何かを問う。

【総務課長】予算のやりくりが一番の課題。

【町長】コロナで執行できなかった予算の返還などないのか。

【総務課長】12月議会でも減額補正があるかも。

【政策課長】SDGsや移住定住、地熱関係で住民の理解を求める予定が、三密を避けるために勉強会や説明会などができなかった。

【町長】ふるさと納税による災害支援寄付金は現在いくらになっているのか。

【政策課長】現時点で約1千百万円。

【西田】寄付した方の善意が何に使われたのかはつきり分かるようにしてもらいたい。

【福祉課長】コロナ対応が最大課題。感染予防、拡大防止の施策業務を行っている。

【町長】災害ボランティア登録数と二一

【町長】どうなっているか。

【福祉課長】90名の登録。活動は24件で完了したのが10件。

【西田】コロナ禍で難しかったとは思いますがボランティアネットワークを広げ、今後の組織づくりを検討してもらいたい。

【産業課長】豪雨で被災した農家の経営再建とコロナの影響を受けている農家の生産支援を図ることが産業課の課題。

【町長】小国はきよら号という軽トラで移動販売をしているが小国は出来ないか。

【町長】商工会で買物弱者の話は出ている。財政措置や運営も難しいと聞いている。

【情報課長】コロナ禍で観光経済活動は難しい。三密を回避できる小国はニーズがあると認識している。

【教委事務局長】学校のネット環境は来年3月末までの工期。先生達の講習もする。

※広報おぐにの改善状況と教育委員会指導員の現況についても質問した。



廃校の活用と農業の担い手 育成について

江藤 理一郎

【町長】現状のまま推移させる予定だが、旧西里小学校についてはID22という東京の企業と連携協定を結んでおり、情報発信を中心に新たな活用を考えている。

【政策課長】旧西里小では生きる力を育む教育と企業による研究開発の融合、ESDの拠点を目指しており、校舎改修の資金調達のためクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の活用も検討していきたい。

【町長】周辺地域住民への周知などは行われているのか。

【政策課長】10月に地域住民の皆様との意見交換をしたいと思う。

【町長】校舎のデザインを大事にし、情報発信を含めて「子ども達の世代へ」という感覚を持っている。地域住民の皆さんとしっかり話を進めていきたい。

【町長】農業従事者の状況と担い手育成について伺う。

【産業課長】畜産繁殖農家は28戸、60・70代が68%を占めており、後継者が4名。酪農については13戸、後継者が8名。ホウレンソウ農家は66戸、60・70代が71%、後継者は3名。キュウリ農家は18戸、60・70代が67%、後継者は0。ダイコン農家は18戸、後継者は5名。担い手育成については2014年より月額10万円を3年間支給する担い手支援給付要綱を制定し、これまでに10名の親元就農の支援を行っている。

【町長】担い手を増やすには農業所得の向上が必須である。その中で地球温暖化も進行する中、新規作物の導入は検討されているのか。

【産業課長】これまでホウレンソウの雨よけハウスやアスパラガスの導入をしているが、現在は少量多品目で農家側が選択する時代となっており、産地形成をするような作物の導入は難しい。今後は関係機関とも連携して作物の検討を行いたい。



7月豪雨災害と農家のコロナ 対策事業について

穴見 まち子

【町長】災害時の避難所について、入口の水道設置や段ボールベッドなど、避難者が過ごしやすい環境設備対策は考えているのか。

【町長】いろいろな方々から支援物資を頂いている。早急にすべて揃えることは難しいが、パーテーションやマットレスなど避難所の設備を含めた過ごし方についても検討していく。

【町長】災害件数は概算で町道200件、河川100件、単県治山7件、水田170件、農業用施設水路30件、農道30件、頭首工10件、林道11件との報告があり、工期は3年間で予定しているようだが、件数が多いので集約して工事を行う予定はないか。

【建設課長】件数が非常に多く、集約しての発注に配慮しながら実施予定である。

【町長】コロナ支援を受けて農家に対する支援はあるのか。

【産業課長】コロナウイルス感染症対策に関する補助事業として4事業に取り組んでる。経営継

続補助金は販路回復や事業継続、転換のための機械導入や人手不足解消の総合的支援、高収益作物次期作支援交付金はコロナウイルスの影響による野菜などの次期作の前向きな取り組みの支援、農作物等作付支援対策事業は令和2年2月から4月に野菜の出荷実績があった生産者の支援、小規模生産者支援事業は高齢農家の生産活動継続のための支援。対象者が重複しないようにする。また、国の直接対策事業に漏れた部分については、町単独事業で行う。

【町長】農業に対しての支援が少ないと思われるが、国の補助が出ない部分などは町が補助をしている。当然だが、あらゆる産業についても町として頑張っていく。



殿町の復興、鍋ヶ滝の運営、 森林整備

大塚 英博

【町長】殿町の大火災跡地について、四年を経過したが、行政としても跡地の振興策等関わりを持つて良いのではないかと思うがいかがか。

【町長】地権者の同意であったり、地域の方々の思いであったりと、非常に難しい問題であり、土地を取得する段階にはいまだ至っていないのが現状だ。

【町長】鍋ヶ滝の観光収益について、土曜日、日曜日を休園しているが何故か。

【情報課長】現在は3密を回避するため、平日のみの運営としているが、昨年までの実績から見ると12月以降は土日でも開園可能ではないかと思っている。

【町長】鍋ヶ滝の三密の回避、シャトルバスが運行できない状態での渋滞の緩和策を考えると、試みに開園してみるという事は難しい現状である。そこで予約システムを検討しているところだ。

【町長】今回の豪雨による森林被害と被害防止に向けての整備が急が



殿町の火災跡地

れるが、森林環境譲与税の使途について伺う。

【産業課長】森林組合が開設し被害を受けた作業道の復旧計画を令和二年から三カ年において計画している。そこで財源としてJバーと寄附金を充てるが財源不足の恐れがあるので、環境譲与税を充たしたいと考えている。



防犯カメラと災害対応

松本 明雄

【町長】小国町における防犯カメラの設置状況と管理体制はどのようなになっているのか。

【総務課長】現在役場庁舎・町民センター・保育園・隣保館及び美術館の5カ所と、防犯協会のものがゆうステーション横の交差点に1カ所ある。管理運行要綱を作り、組織の長が管理している。

【町長】他県の例だが、農家が手塩にかけて育てた牛豚や高級果実の盗難があつた。病気や有害鳥獣の被害に加えて盗難にあえばこんなに辛いことはない。そこで夜間の暗闇でも60メートル撮影できる防犯カメラを設置している。今後小国町でも同様の被害があつたらどう対応していくのか考えてもらいたい。また東京消防庁管内の火災原因のトップが放火だったが、防犯カメラが増えたことで40数年ぶりに減少したという。一概には言えないが犯罪の抑止力になったと考えられる。今一度防犯カメラの重要性和必要性を考えてもらいたい。

【総務課長】少しずつ考えていかなくはないけれども状況になつてい

【町長】豪雨災害の反省と今後の取り組みについて問う。他市町村も大きな被害だったが、小国町もこれまでにない甚大な災害だった。この状況でなぜ自衛隊に派遣要請をしなかったのか。要請すれば部隊をどう動かすかは町長ではなく自衛隊が判断する。これほどの災害で緊急性のある場合は協力を要請するべきではなかったか。

【町長】人的被害やものすごく危険な状況があり、乗り越えられない現状があつた時は要請もしただろうが、今回の七月豪雨に限っては、自分の判断は間違っていないと思う。

【松本】今後もどんな災害が起こるか分からない。自助・共助・公助を心掛け、早めの判断で避難し居場所の連絡もすべきだ。

クローズアップ小国

今号から小国で活躍する注目の人や団体を紹介していきます。第一回目は下城北河内の(株)下巢畑農産をご紹介します。

小陣さんご夫妻は5名の従業員さんと働いています。繁忙期は必要に応じて臨時の応援もお願いしているそうです。現在はダイコンとサツマイモを主に生産し、ダイコンは最盛期には週に4トン～6トンを数社の加工会社を通して販売しているとのこと。取材時は出荷準備に大忙しでした。



◆小国初のGAP取得

法人化をしたのは2013年6月ですが、当初から農産品の安全性などを重視した生産を心がけていました。知名度のない小企業がビジネスチャンスを得るにはどうすべきか熟考し、GAP(農業版IS)認証が必要と思い、2年間勉強して認証をとることができました。GAPは労働安全・環境保全・食品安全の基準を満たす業者にのみ与えられるもので、阿蘇郡内では下巢畑農産と数社だけしか取っていないそうです。食の安全性が重視されるようになった現在では、大手企業はGAP認証があることが取引条件になってきています。他地域との競争に参入するにはGAPが必要でした。年一回の監査以外に飛び込みで取引先が訪れることもよくあり、GAP基準が守られているか常に厳しい自主管理が求められています。

◆これから目指すもの

今後は250項目の厳しい審査がある世界基準のGAP認証獲得を目指しているとのこと。そしてサツマイモなどを加工して海外に輸出したいと抱負を語っていただきました。素晴らしい取り組みをしている小陣さんご夫妻の未来は明るいと感じました。益々のご発展を祈っています！



下巢畑農産の商品は「薬味野菜の里小国」や「ゆうステーション」などで販売しています。

「これからの防災のあり方」とは

熊本県の町村議会議員研修が10月2日(金)、熊本市で開かれ、防災システム研究所の山村武彦所長が講演を行いました。

7月豪雨や熊本地震でも現地調査を行い、熊本地震では「本震」を経験したという山村所長は、人間の「災害記憶半減期」は3～5年間だと指摘。日頃の避難訓練などの備えを“形式的”に行うだけでは、いざという時に「凍り付き症候群」になり動けない人が出てくる。具体的な訓練を行う事で住民がスキルアップ出来るように 支援していく事が大事だと話しました。

「公助・共助・自助」の他に「互^ご近^{きん}助^{じょ}」の概念を提言。高齢化社会に不可欠な近所同士の助け合いや、女性と障害者視点の避難所運営の重要性を説きました。

編集後記

卒業や新メンバー加入を繰り返す事で、息長く活躍を続けるアイドルグループがありますが、紙幣もメンバー交代を繰り返しているようなものです。今の顔ぶれになり、16年目の日本銀行券は、デザインごとに呼び名が決まっており、2004年に発行を開始した現在のものは「E号券」と呼ぶそうです。最近、偶然にも、旧メンバーを手にする機会があり、とても懐かしい思いをしました。夏目漱石が描かれた「D千円券」です。1984年発行開始で、昭和末期生まれの世代にとっては物心ついた頃に流通していたのがこれらのお札です。2024年発行予定の「F号券(仮称)」では北里柴三郎が「メンバー入り」しますが、今の小国町の子ども達が大人になって柴三郎の千円券を手にした時には、きっと感慨もひとしおに違いありません。

(児玉)

【発行責任者】

議長

【広報委員会】

委員長

副委員長

委員

委員



松崎 俊一

西田 直美

江藤理一郎

久野 達也

児玉 智博

議会を傍聴してみませんか

傍聴に来るのはなかなか敷居が高い気がしていたが、来てみると議会の様子がよくわかって良かった。また来たいと思う。



本田 康幸 さん(下城)

(9月8日傍聴 第4回定例会)

※本田さんは会期中に再度傍聴に来てくださいました。

議員は議会でどんな発言をしているの？
どんなまちづくりを考えているの？

議会に来てあなた自身でご覧ください！

※次の定例会は12月です。日程は広報おぐに
やおぐちゃんでお知らせします。

表紙について

コロナ禍の影響で5月から9月に変更された小国中学校の運動会の一コマです。

観客の制限をし、三密を避けながら異例の開催となりましたが、生徒たちは元気に力いっぱい走ったり踊ったりと活躍しました。バトンを受け渡す姿が凛々しいですね！